

## 平成 29 年度 公益社団法人大気環境学会 事業報告

(平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

### 1. 会員の状況

種 別	平成 29 年 6 月 30 日	平成 30 年 6 月 30 日	差引増減 (△)
正 会 員	881 名	853 名	△ 28 名
法人会員 A	134 名	133 名	△ 1 名
法人会員 B	51 名	53 名	2 名
学生会員	72 名	63 名	△ 9 名
賛助会員	16 団体 (19 口)	16 団体 (19 口)	-

正会員数は、平成 28 年度は 20 名の減少であったが、平成 29 年度は 28 名の減少になった。

### 2. 年会報告

平成 29 年 9 月 6 日 (水)～8 日 (金) に近畿支部の担当で、神戸市中央区の兵庫医療大学において、第 58 回 大気環境学会年会を開催した。参加者数は、正会員 302 名、賛助会員 9 名、法人会員 A 10 名、法人会員 B 45 名、学生 74 名、非会員 88 名、計 528 名であり、機器展出展／カタログ出展企業数は 37 社であった。

総会、受賞記念講演、特別集会、分科会、機器展が開催された。一般研究発表は、口頭発表 150 件、ポスター発表 128 件、学生口頭発表 31 件、あわせて 309 件であった。また、機器展出展企業による技術セミナーを開催した。

### 3. 総会開催

平成 29 年 9 月 7 日 (木) 兵庫医療大学オクタホールにて、平成 29 年度総会を開催した。

#### 審議及び報告事項

#### 1) 平成 28 年度事業報告、収支決算報告及び監査報告について

議長より質疑を求めた後、全員一致でこれを決議した。

#### 2) 平成 29 年度事業計画及び収支予算について

定款第 35 条により、事業年度開始前の理事会において承認された平成 29 年度事業計画及び収支予算について報告した。

#### 3) 大気環境学会誌の電子ジャーナル化について

大原利眞会長から、学会誌第 54 巻第 1 号からの電子ジャーナルへの完全移行に向けて取り組む方針であることが報告された。議長より質疑を求めた結果、特に異議は出なかった。

#### 4) 名誉会員の推戴について

大原会長より、北林興二会員を名誉会員に推戴する旨の報告があり、承認された。

#### 5) 第 59 回大気環境学会年会開催地について

第 59 回大気環境学会年会を福岡県で開催し、会場を福岡県内、年会長を九州大学教授の鶴野伊津志会員とする計画が報告され、承認された。

#### 6) 第 60 回大気環境学会年会開催地について

第 60 回大気環境学会年会を東京都で開催し、会場を東京都内、年会長を東京農工大学教授の伊豆田猛会員とする計画が報告され、承認された。

#### 7) その他

特に記載事項なし。

### 4. 理事会等開催

#### (1) 理事会

1) 定例の会議を次のように開催した。

第 1 回：平成 29 年 8 月 10 日（メール審議）

審議内容：平成 28 年度事業報告・収支決算

第 2 回：平成 29 年 9 月 5 日（兵庫医療大学）

審議内容：平成 28 年度監査報告、定時総会議題、60 周年記念募金、第 58 回年会の開催準備、第 59 回、第 60 回年会の計画、入退会者の承認等

第 3 回：平成 30 年 6 月 1 日（日本公衆衛生協会）

審議内容：平成 30 年度事業計画及び収支予算、学会誌の電子ジャーナル化、60 周年記念事業、第 60 回年会開催地、入退会者の承認等

2) 平成 28 年度事業報告及び収支決算の承認（第 1 回理事会）

それぞれ、原案の通り承認された。

3) 平成 30 年度事業計画及び収支予算の承認（第 3 回理事会）

それぞれ、原案の通り承認された。この結果を受け、平成 30 年 6 月 25 日に内閣府に事業計画書等を提出した。また、学会ホームページに掲載した。

4) 大気環境学会誌の電子ジャーナル化等について（第 3 回理事会）

大気環境学会誌の電子ジャーナルへの移行について実施要領が決定した報告があり、原案通り承認された。主な内容は以下の通り。

- ① 第 54 巻第 3 号（2019 年 5 月発行）から、電子ジャーナルに移行する。
- ② 電子ジャーナルへの掲載記事は、現在の記事区分の「論文」及び「A 記事」を掲載し、年間 6 回発行し、J-STAGE で公開する。
- ③ 現在の学会誌における「前付け」、「N 記事」、「後付け」等は、メールマガジン・ウェブとして配信する。ただし、メールマガジン配信については、事務局機能の移転と併せて行う予定とした。

5) 平成 30 年度役員選挙について

新田裕史選挙管理委員長から、役員等の選任に関する実施細則（案）、理事及び候補者選挙告示（案）について説明があり、原案通り承認された。平成 30 年の役員選挙は、6 月 20 日告示、7 月 11 日投票締切、7 月 17 日～23 日各支部における開票、7 月 25 日開票結果確定、総会における承認 9 月 13 日というスケジュールで行うこととした。

6) 名誉会員の推戴について

大原会長から提案があり、原案通り承認された。

## (2) 常任理事会

### 1) 定例会議の開催

第1回：平成29年8月10日、第2回：平成29年12月25日、第3回：平成30年2月1日、第4回：平成30年4月9日、第5回：平成30年5月10日、第6回：平成30年6月25日。第3、4、6回については、公益社団法人大気環境学会常任理事会に関する規程第6条第3項に基づく常任理事会の決議の省略の方法により、メール審議とした。また、適宜メール等により、必要事項を協議した。

### 2) 大気環境に関する調査及び研究事業の実施

#### ① 環境省からの受託研究の実施（ペーパーリターン研究会）

環境省から、VOCの排出抑制対策による光化学オキシダント等の低減効果に関する現在の科学的知見を収集・整理することにより、VOC対策をさらに推進するための根拠となる基礎資料を作成することを目的に、「平成29年度PM<sub>2.5</sub>等に関する文献調査業務」を受託し、平成30年3月に報告した。

### 3) 学会賞の選考について（第6回常任理事会）

学会賞選考委員会の報告を受け、原案の通り承認した。

### 4) 論文賞の選考について

論文賞選考委員会（平成30年6月29日）の報告を受け、平成30年度にメール審議の予定である。

### 5) 平成30年度分科会の承認について（第6回常任理事会）

平成30年度の分科会公募を行い、平成30年5月31日までに公募があった継続10件、新規1件の分科会について申請通り承認した。

### 6) 環境省との意見交換会

昨年度に引き続き、環境省水・大気環境局との意見交換会（平成29年12月25日）を行った。

### 7) 役員選挙の実施について（第2回、第5回常任理事会）

新田裕史理事（中央選挙管理委員会委員長）から、平成30年役員選挙の概要について説明があり、前回と同様な日程を想定していることで了承された。また、役員等の選任に関する規程を定款に従い、理事候補者及び監事候補者選挙として文言の修正を行い、平成29年12月25日付で改正することとした。

また、平成30年（公社）大気環境学会役員等の選任に関する実施細則（案）及び理事・監事候補者選挙告示（案）について説明があり、概ね了承された。

## (3) 支部長会

平成29年9月5日、兵庫医療大学にて開催し、各支部の報告が行われた。

## 5. 出版等

### 1) 大気環境学会誌

第52巻4号～第53巻3号の計6号を刊行した。

### 2) 入門講座のWeb販売

大気環境学会誌に掲載した入門講座の12シリーズについて、Web販売を実施した。

### 3) 第58回大気環境学会年会講演要旨集を刊行（年会事務局）。

#### 4) 日韓大気環境学会合同英文誌 AJAE (Asian Journal of Atmospheric Environment)

Vol.11 No.3、No.4、Vol.12 No.1、No.2 を刊行した。

#### 5) 「大気環境の事典」の出版

60周年記念事業の一環として、「大気環境の事典」を朝倉書店から2019年度中に出版する予定で編集作業を実施した。

### 6. 委員会開催

#### (1) 倫理委員会

平成28年度活動報告や今後の課題についてメール会議を行い、学会誌第53巻1号に倫理綱領の掲載、同3号に倫理委員会だより「研究倫理教育の受講について」を掲載した。

#### (2) 編集委員会(編集実務委員会)

##### 1) 定例の会議の開催

定例の会議を開催し、学会誌の編集企画を行い、合計6号(第52巻第4号～第53巻第3号)を刊行した。また、適宜メール審議により、必要事項を協議した。

第1回：平成29年7月7日、第2回：平成29年9月7日(平成29年度編集委員会を兼ねる)、第3回：平成29年11月27日、第4回：平成30年1月25日、第5回：平成30年3月20日、第6回：平成30年5月22日

##### 2) 論文審査

平成29年度に投稿のあった研究論文等27本について掲載可否の審査を行った。

##### 3) 入門講座等の企画・掲載

入門講座、解説(大気環境行政)、論壇(60周年記念)を企画、掲載した。また、支部だより、分科会だより、行政だより、研究室紹介を毎号掲載した。

##### 4) その他

入門講座および解説の冊子化を継続し、ダウンロード販売を行った。J-stageの閲覧データを解析し、ホームページ上にJ-stageアクセスランキングをアップした。電子ジャーナル化にともなう技術的検討を行った。

#### (3) 国際交流委員会

1) 第58回年会開催期間中の平成29年9月6日に、韓国大気環境学会および中国環境科学学会大気分会の会員を招聘し、国際交流シンポジウムを開催した。同日、国際交流委員会および日中韓三学会会合を開催し、学術交流の今後の計画等について審議した。

2) 韓国 Daegu にて開催された韓国大気環境学会年会の国際プレナリーセッション(平成29年11月9日)において、速水常任理事が講演を行った。

3) 北京にて開催された中国環境科学学会大気分会年会に松田常任理事(国際交流委員長)と奥田 AJAE 委員長が出席し、国際セッションで講演を行った(平成29年12月9日)。同日、日中韓三学会会合が開催され、AJAE 誌の ISI ジャーナル化に向けた取り組みについて審議した。

#### (4) 学会賞選考委員会

平成30年5月31日を締め切りとして、平成29年度の大気環境学会賞の公募を行なった。平成30年6月11日、大気環境学会賞の各賞の選考を行なった。この結果は、常任理事会に報告した。

## (5) 論文賞選考委員会

### 1) 論文賞の選考対象論文

大気環境学会誌第 52 巻および AJAE 第 11 巻に掲載された論文とした(全 27 編)。編集委員による推薦(一次評価)と論文賞選考委員会における選考(二次評価)の二段階選考とした。

### 2) 論文賞の選考

一次、二次評価を受けて、論文賞選考委員会(平成 30 年 6 月 29 日)を開催し、最優秀論文賞 1 編、部門別論文賞 4 編を論文賞候補として常任理事会に推薦した。

## (6) 広報委員会

### 1) 活動状況

#### ① 学会広報体制の充実

ホームページのトップページに掲載するバナー広告の募集を行った。また、第 58 回年会の機器展会場において、バナー広告に関する広報活動を行った。

#### ② メールングリストの整備

会員との情報交換ツールとしての電子メールの活用に向け、会員のメールアドレス収集のための提案を行った。

#### ③ ポスター「大気環境学会のご案内」の更新

学会誌第 53 巻の表紙に合わせて、大気環境学会ポスターを更新した。

#### ④ 第 31 回環境工学連合講演会(日本学術会議主催)への参画

例年通り、日本学術会議主催の講演会において、学会を代表して兼保直樹会員が講演した。

- ・ 平成 30 年 5 月 22 日(火)(日本学術会議講堂)、総合テーマ「レギュラトリーサイエンスと環境工学」
- ・ 兼保直樹会員の講演「大気中の汚染物質に関する法規制と研究の現状」

### 2) 委員会開催

電子メールを利用して会議を行い、メールングリストの整備に向けた取り組みを協議した。

## (7) 選挙管理委員会

選挙管理委員会を 2 回メール審議にて行い、役員等の選任に関する実施細則の検討、理事及び監事候補者選挙告示案の検討を行い、常任理事会に報告した。前回選挙からの主な修正点は以下の通りである。

- ① 理事定数については、各支部の会員数、理事定数のバランスを鑑み、正会員 55 名に 1 名の割合で算出することとし、支部の最小理事定数は従前どおり 2 名とした。
- ② 理事及び監事については、総会で承認されるため、「理事・監事候補者選挙」として表記を修正した。
- ③ 選挙結果の報告について、次点及び次々点者を含めて理事会に報告することとした。

平成 30 年度役員(理事・監事)選挙を行った(平成 30 年 6 月 20 日告示、7 月 11 日までに投票)。開票結果の確定を平成 30 年 7 月 30 日に行い、理事及び監事候補の選出結果を平成 30 年 9 月 11 日の理事会及び平成 30 年 9 月 13 日の定時総会において報告予定である。

## (8) 企画運営委員会・産官学民連絡協議会

メール審議を行い、平成 31 年夏に開催予定の大気環境学会 60 周年記念セミナーの企画について検討した。

## (9) AJAE 委員会

第 58 回年会開催期間中の平成 29 年 9 月 6 日に AJAE 委員会を開催した。

韓国大気環境学会と協力して、AJAE (Asian Journal of Atmospheric Environment) Vol. 11 No. 3, No. 4, Vol. 12 No. 1, No. 2 を発行した。

## 7. 支部報告

### (1) 北海道・東北支部

1) 支部総会、支部学会等の開催：平成 29 年 10 月 13 日 (ALVE (秋田市市民交流プラザ))

支部総会、幹事会を併催。参加者数は約 30 名

- ・ 支部総会：平成 28 年度支部活動報告及び決算報告、平成 29 年度支部活動方針及び予算案の承認
- ・ 支部学会：一般研究発表 11 題、特別講演 2 件

- ① 「秋田県でのブナ林に関するモニタリングの取り組み」、和田覚 (秋田県林業研究研修センター)
- ② 「北日本上空における温室効果ガスの観測」、井上誠 (秋田県立大学)

2) 公開シンポジウム：平成 30 年 2 月 23 日、酪農学園大学、(地独) 北海道立総合研究機構環境科学研究センターとの共催、テーマ「第 5 回大気エアロゾルシンポジウム－陸・植物・空－」

### (2) 関東支部

1) 支部総会、講演会の開催：平成 30 年 5 月 25 日 (ムーブ町屋 ムーブホール)

- ・ 支部総会：平成 29 年度支部・部会活動報告、平成 29 年度中間会計報告、監査報告、平成 30 年度活動計画案、平成 30 年度予算案、参加者：166 名 (内委任状 126 名)
- ・ 支部講演会の開催 (共催：全国環境研協議会)、参加者 128 名  
テーマ：「有害大気汚染物質のいま」

- ① 「環境省における有害大気汚染物質対策について」、田淵敬一 (環境省水・大気環境局大気環境課)
- ② 「有害大気汚染物質の健康リスク評価の考え方」、青木康展 (国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター)
- ③ 「有害大気汚染物質のモニタリングについて」、星純也 (東京都環境科学研究所)
- ④ 「自動車排出で見た PRTR 関連物質の低減」、岡山紳一郎 (日本自動車工業会)

2) 支部役員会：第 1 回 (平成 29 年 11 月 1 日)、第 2 回 (平成 30 年 1 月 30 日)、第 3 回 (平成 30 年 4 月 6 日)、第 4 回 (平成 30 年 5 月 10 日)

3) 部会活動報告

酸性雨、室内環境、植物影響、粒子状物質の各部会で講演会等を開催した。

4) 関東支部会員のメールアドレスの収集

関東支部所属の正会員について、本部と連携してメールアドレスを収集し、連絡の効率化を図った。支部正会員 428 名のうち、連絡可能なメールアドレス収集率は 95%となった。

### (3) 中部支部

1) 支部総会、講演会等の開催：平成 30 年 5 月 27 日 (日) (長野市生涯学習センター)

- ・ 評議員会：支部総会へ提出する議題について協議

- ・ 支部総会：平成28年度の事業報告・決算報告・会計監査報告、平成29年度事業経過報告・決算見込み、平成30年度事業計画・予算案
- ・ 講演会：平成30年5月27日（日）（長野市生涯学習センター）

テーマ「長野県の大気環境 –モニタリングと健康影響–」：講演5題

- ① 「長野県における大気常時監視」、町田哲（長野県環境保全研究所）
- ② 「長野県の山岳における大気環境に関するコメント」、長田和雄（名古屋大学）
- ③ 「長野市における山風とヒートアイランド」、榊原保志（信州大学教育学部）
- ④ 「長野県におけるPM<sub>2.5</sub>の小児における生体影響調査」、塚原照臣（信州大学医学部）
- ⑤ 「長野県における環境省エコチル調査とPM<sub>2.5</sub>の成人における生体影響調査」、野見山哲生（信州大学医学部）

- 2) 第35回全環研協議会東海・近畿・北陸支部共同調査研究（越境/広域大気汚染）情報交換会（共催）  
平成29年12月14日（愛知県自治センター）

テーマ「PM<sub>2.5</sub>の環境基準超過をもたらす地域的/広域的汚染機構の解明」、講演3件、参加者40名

#### （４） 近畿支部

- 1) 第44回近畿支部総会・シンポジウム：平成29年7月14日（金）（兵庫医科大学）

- ・ 支部総会：平成28年度事業・収支決算報告、部会および学術委員会報告、平成29年度事業計画及び予算の承認
- ・ シンポジウム「船舶に関する大気環境分野の取り組み」、講演3件、参加者45名
  - ① 「船舶の環境規制に関する国際動向」、植村忠之（海上技術安全研究所）
  - ② 「船舶の排ガス規制と対応技術」、浅井志郎（ダイハツディーゼル株式会社）
  - ③ 「数値モデルを用いた大気汚染に対する船舶排出寄与推計」、嶋寺光（大阪大学）

- 2) 理事会・運営幹事会：第1回（平成29年7月14日）、第2回（平成30年1月29日）

- 3) 学術委員会発表会、部会講演会

- ① 学術委員会研究発表会：平成29年12月27日、大阪府大 I-site なんば、一般発表21題、特別講演1題、参加者44名
- ② 情報・広報委員会：大気環境学会近畿支部ホームページの運営
- ③ 気象拡散部会：講演会、平成30年5月11日、大阪府大 I-site なんば、講演3題、参加者19名
- ④ 反応と測定部会：「大気観測におけるリモートセンシングの活用」、平成30年3月16日、大阪府大 I-site なんば、講演2題、参加者12名
- ⑤ 人体影響部会：セミナー「大気中の亜硝酸の実態と健康影響」、平成30年3月20日、大阪健康安全基盤研究所、講演3題、参加者16名
- ⑥ エアロゾル部会：セミナー「PM<sub>2.5</sub>化学成分の分析精度の向上」、平成30年3月15日、大阪市立環境科学研究センター、講演4題、参加者74名
- ⑦ 植物影響部会：講演会、平成30年6月1日、大阪府大 I-site なんば、講演3題、参加者16名

#### （５） 中国・四国支部

- 1) 支部総会

平成 30 年 5 月 28 日 (サテライトキャンパスひろしま)

- ・ 平成 29 年度決算報告及び平成 30 年度の計画について

## 2) 大気、水、廃棄物、3 学会支部合同講演会 (公開講演会)

平成 30 年 5 月 28 日 (サテライトキャンパスひろしま)

テーマ「今、我々の環境はどうなってる?」、講演 3 件、参加者 70 名

- ① 「温暖化にまつわる科学的な課題」、向井人史 (国立環境研究所)
- ② 「水環境中で懸念される内分泌かく乱物質、医薬品、ナノマテリアルなどの新たな汚染物質について」、  
鎌迫典久 (愛媛大学)
- ③ 「廃棄物やリサイクルから持続可能な社会を考える」、中平徹也 (津山圏域クリーンセンター)

## (6) 九州支部

### 1) 支部総会、役員会の開催

平成 30 年 1 月 26 日 (九大応用力学研究所)

- ・ 平成 28 年度事業実施報告及び収支決算報告、平成 29 年度事業計画 (案) 及び予算 (案) について

### 2) 支部研究発表会の開催

平成 30 年 1 月 26 日 (九大応用力学研究所)、特別講演 1 件、一般講演 7 件 (大気環境 4 件、室内環境 3 件)、参加者 39 名 (内、非会員 8 名)

特別講演「黄砂の疫学研究—最近の知見と曝露予防へ向けて」、橋爪真弘 (長崎大学熱帯医学研究所)

一般研究発表

- ① 「黄砂付着真菌のアレルギー誘発能と黄砂との共曝露影響について」、定金香里 (大分県立看護科学大学)
- ② 「インジウム化合物のラット気管内投与による肺影響評価」、田中昭代 (九州大学)
- ③ 「光触媒によるタバコのセカンドハンドスモークとサードハンドスモークの脱臭の検討」、佐藤博 (長崎国際大学)
- ④ 「福岡平野における局地的な前線にともなう大気組成の短時間変動」、高島久洋 (金沢大学)
- ⑤ 「最近の北九州地域の大気汚染の特徴」、嵐谷奎一 (産業医科大学)
- ⑥ 「エアロゾル版再解析プロダクト—The Japanese Reanalysis for Aerosol」、弓本桂也 (九州大学)
- ⑦ 「PM2.5 越境汚染の最近の傾向について」、鶴野伊津志 (九州大学)

### 3) 九州大学応用力学研究所、国立環境研究所と共催

平成29年12月2~3日 (九州大学)、講演16件

テーマ「第3回 アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開」

## 8. 分科会等報告

### (1) 植物分科会

#### 1) 年会分科会：平成 29 年 9 月 6 日 (第 58 回大気環境学会年会、兵庫医療大学)

テーマ：「植物に対するオゾンの影響に関するメカニズム解明とリスク評価」、講演 2 件、参加者 25 名

#### 2) 講演会 (関東支部植物影響部会との共催で開催)

平成 29 年 12 月 15 日（金）、つくばイノベーションプラザ大会議室、講演 2 件、参加者 19 名

### 3) 世話人会議及び世話人選挙

世話人会議：平成 29 年 8 月 31 日、12 月 15 日、平成 30 年 4 月 27 日の計 3 回

世話人選挙：平成 30 年 5 月に世話人選挙を実施

## (2) 都市大気環境モデリング分科会

### 1) 年会分科会：平成 29 年 9 月 6 日（第 58 回大気環境学会年会、兵庫医療大学）

テーマ「モデル間相互比較研究から見えてきたもの ～大気質モデルの現状と課題、そして今後～」

### 2) 年会分科会：平成 29 年 9 月 8 日（第 58 回大気環境学会年会、兵庫医療大学）

健康影響分科会・都市大気環境モデリング分科会共同企画講演会

テーマ「大気モデル研究との融合による疫学研究・健康インパクト評価の新展開 ～曝露－応答関数構築からリスク評価まで～」

### 3) 分科会講演会：平成 29 年 9 月 22 日（大手町ファーストスクエアカンファレンス）

テーマ「PM<sub>2.5</sub>・Ox の発生源寄与解析に向けて ～モデル・観測・インベントリの現状と課題整理～」

### 4) 共催：平成 29 年 12 月 1-2 日

九州大学応用力学研究所研究集会「第 3 回アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会」

## (3) 酸性雨分科会

### 1) 年会分科会：平成29年9月6日（第58回大気環境学会年会、兵庫医療大学）

テーマ：「安定同位体比測定による大気環境科学の新展開－森林における物質循環解明を例として－」、講演3件、参加者46名

### 2) 東京講演会（共催、関東支部酸性雨部会主催）：平成30年2月19日（東京農工大学 府中キャンパス）

テーマ：「反応性窒素の大気沈着について考える（第2回）」、講演3件、参加者40名

### 3) 大阪講演会（共催、全環研東海・近畿・北陸支部主催、酸性雨研究会共催）：平成29年12月14日（愛知県自治センター）講演3件、参加者36名

### 4) メールニュースの発行（18回発行、メール会員236人）

## (4) 環境大気モニタリング分科会

### 1) 年会分科会（第 41 回研究会）：平成 29 年 9 月 6 日（第 58 回大気環境学会年会、兵庫医療大学）

全環研との共催で特別集会、テーマ「PM<sub>2.5</sub> 高濃度の地域別特徴と近年の動向」、講演 6 件

### 2) 第 42 回研究会：平成 30 年 3 月 16 日（江東区文化センター）

テーマ「災害時における環境モニタリングの実態と対策」、講演 4 件、参加者 55 名

### 3) 学会誌「入門講座」の執筆：「大気環境モニタリング」を執筆・掲載（第 52 巻 3 号～第 53 巻 1 号）

### 4) 幹事会の開催

## (5) 健康影響分科会

### 1) 年会分科会：平成 29 年 9 月 6 日（第 58 回大気環境学会年会、兵庫医療大学）

都市大気環境モデリング分科会・健康影響分科会合同企画

テーマ「大気モデル研究との融合による疫学研究の新展開～曝露－応答関数構築からリスク評価まで～」

講演 3 件

#### (6) 自動車環境分科会

1) 年会分科会：平成 29 年 9 月 6 日（第 58 回大気環境学会年会、兵庫医療大学）

テーマ「自動車の大気環境影響評価 – 実験室からフィールドへ、そしてー」、講演 3 件、参加者 40 名

2) 自動車環境分科会セミナー：平成 30 年 3 月 28 日（東京貨物運送厚生年金基金会館）

テーマ「自動車ブレーキ粉じんと計測手法」、講演 3 件、参加者 40 名

#### (7) 室内環境分科会

1) 年会分科会：平成 29 年 9 月 6 日（第 58 回大気環境学会年会、兵庫医療大学）

テーマ「最新技術から見えてくる室内環境の展望—測定から評価、対策まで—」、講演 3 件、参加者 22 名

2) 公開講演会：平成 30 年 1 月 16 日（産業技術総合研究所 臨海副都心センター）

テーマ「室内空気汚染の現状と今後の展望 – 新たな指針値の策定とこれからの室内空気質—」、講演 2 件、参加者 40 名

#### (8) 放射性物質動態分科会

1) 年会特別集会（一般公開講座）：平成29年9月8日（第58回大気環境学会年会、兵庫医療大学）

テーマ「福島事故による放射性物質の大気環境影響はどこまで明らかになったか?」、講演5件、参加者約100名（うち非会員約20名）

2) 報告等：特別集会5「福島事故による放射性物質の大気環境影響はどこまで明らかになったか?」、大気環境学会誌、第52巻第6号、N99-100(2017)

#### (9) 臭気環境分科会

1) 年会分科会：平成 29 年 9 月 6 日（第 58 回大気環境学会年会、兵庫医療大学）

テーマ：「臭気に関する最近の話題 – 神戸市の臭気規制、皮革産業の臭気、センサー技術の変遷と最新情報 –」、講演 4 件、参加者 24 名

#### (10) 都市大気エアロゾル分科会

1) 年会分科会：平成 29 年 9 月 6 日（第 58 回大気環境学会年会、兵庫医療大）

テーマ「PM<sub>2.5</sub> 自動測定機の 1 時間値の実態、評価、開発」講演 4 件、参加者 78 名

1) 研究セミナー（日本エアロゾル学会（PM<sub>2.5</sub> の化学特性に関する研究会）主催、大気環境学会近畿支部エアロゾル部会との共催）、平成 30 年 3 月 15 日（大阪市立環境科学研究センター）

テーマ「PM<sub>2.5</sub> 化学成分の分析精度の向上」、講演 4 件、参加者 74 名

#### (11) ペーパーリターン研究会

環境省から、VOC の排出抑制対策による光化学オキシダント等の低減効果に関する現在の科学的知見を収集・整理することにより、VOC 対策をさらに推進するための根拠となる基礎資料を作成することを目的に、「平成 29 年度 PM<sub>2.5</sub> 等に関する文献調査業務」を受託し、平成 30 年 3 月に報告した。

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

平成30年9月

公益社団法人 大気環境学会